

平成 28 年 6 月 23 日

学位（博士）論文内容の要旨

1. 論文申請者 環境園芸学専攻 食料資源経済学 コース

(ふりがな) まつもと しゅんすけ

平成 23 年度入学 学生証番号 11HD5202 氏 名 松本 俊輔

2. 論文題名（外国語の場合は、その和訳を併記）

陸稲 NERICA の普及条件と最適栽培技術 - 東アフリカウガンダにおける試験に基づく検討 -

3. 論文概要（600 字程度）

本研究は、近年サブサハラアフリカで栽培面積が拡大している陸稲であるネリカ品種の適正な栽培技術を確立するために、様々な視点からその栽培特性を検証するものである。

サブサハラアフリカでは現在、人口増加に伴い、食料需要が年々増加する傾向にある。そのアフリカの中でも、コメの消費量と生産量をのばしている国の一つにウガンダがある。2002 年から導入された優良品種群である陸稲ネリカ品種はウガンダのコメの生産量増加の一端を担っている。しかし、ウガンダにおけるコメは比較的新しい作物であり、農家にコメ栽培の技術、知識は十分に浸透していない。同時に、陸稲ネリカの研究が十分行われていないために、適正な栽培方法が確立されていない。

そこで、本研究では、農家にネリカを普及時に使用する栽培マニュアルの作成のための基礎的なデータを収集し、ウガンダに適した栽培技術を確立することを目的として、ネリカ品種群を用いて様々な栽培試験を行った。播種数・播種深度・植栽密度などの播種条件、施肥条件、灌水量、水田・畑作と言った栽培条件を変えて、ネリカの生理生態特性を明らかにすることで、栽培条件の最適化を試みた。一連の試験結果から、ネリカは耐乾性に優れており、肥料反応性も高く、一定の雨量が確保できれば畑地条件でも水田条件に匹敵する収量が得られることが分かった。これらの試験結果を加えて、ウガンダにおけるネリカ栽培マニュアルの改良を行った。

4. 学位に付記する専攻分野の名称 博士（ 農学 ）

主任研究指導教員氏名 高垣美智子